

なかよし運動会が教えてくれたこと2

『行事は創るもの』 附属小の行事を考える時に基本的な立場として教えていただいたこと

「暑さ寒さも彼岸まで」と言ったものですが、すばらしい秋晴れの週末でした。この週末は街中のいたるところでキンモクセイの香りを楽しむことができました。私のいる校長室でもこの香りを楽しむことができます。今の校長室のある場所は昔「教官室（※昔は文部教官教諭だったので職員室でなく「教官室」と呼んでいた）」にあるので附属小学校に勤務した経験のある方なら、この香りは大変懐かしく、昔に思いを馳せることと思います。

先週の金曜日「5色綱引き」の練習が行われました。古狸の私にとっても初めての体験でした。これは面白いですね。子どもたちの動きはもう100点満点。でもそれ以上に先生方の動きのよさに感心しました（学校課の奈須野係長も感心されていました！）。担当の平井先生にお聞きしたところ、今年度は全体での確認は行わず、それぞれのチーフの先生に動きの確認を行っただけとこと、なおさら驚きました。当日の対決が楽しみになりました。

児童用の昇降口に「あと6日」掲示ができ、組集団の応援旗もお目見えしました（以前は横長の横断幕で運動会当日応援席に掲示されていた）。またスローガンも掲示され、運動会への機運が高まってきています。



金曜日は授業参観・学年・学級懇談会も行われました。たくさんの保護者の方々が最後まで残っていただき、改めて附属小の保護者の皆様の学校への関心の高さを感じました。先生方も運動会の練習と並行して準備を進めていただきました、本当にご苦労様でした。

さあ今週はなかよし運動会。

『行事はやるもでもやらされるものでもない、創るものだ』

私が最初に教務部（現在の学校行事部）で運動会担当の時に先輩から教えていただいた言葉です。今年は40回目の記念の年。この年齢になって「行事を創る」の意味が少し分かってきたように思えます。

それを教えてくれたのは今の目の前の附属小の子どもたちであり、やっぱり自慢の附属小の教職員の方々の姿からです。

あとはお天気になるのを祈るばかりです。

（文責：副校長 手代木）